

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 23 日
農 林 水 産 省

| 番号 | 確認場所 | 経営状態 | 飼育頭数 | 位置 | 経過等 | 検査結果 陽性 (23日判明) |
|-----|------------|-------|---|---------------------------|---|-----------------------|
| 182 | 児湯郡 都農町 | 肥育牛一貫 | 当該農場242頭 (繁殖牛64頭 育成牛4頭 子牛56頭 肥育牛118頭 関連農場44頭 (肥育牛44頭) | 48例目の 農場から 北西約700m | ・5月21日、町役場職員から宮崎県に対し、飼養牛に発熱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付 ・当該農場と飼養管理者が同一である別の農場について、この管理者が飼養を行っていたことが判明したため、飼養豚全頭を疑似患畜としました。 | 3頭 |
| 183 | 児湯郡 新富町 | 肉用牛肥育 | 255頭 (肥育牛255頭) | 146例目の 農場から 南東約850m | ・5月21日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、4頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付 | 2頭 |
| 184 | 児湯郡 新富町 | 肉用牛一貫 | 84頭 (繁殖牛50頭 育成牛10頭 肥育牛4頭 子牛20頭) | 141例目の 農場から 東約150m | ・5月21日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・22日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・22日、検体を動物衛生研究所に送付 | 1頭 |
| 185 | 児湯郡 川南町 | 肉用牛繁殖 | 15頭 (繁殖牛7頭 子牛8頭) | 129例目の 農場から 北東約300m | ・5月21日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・22日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・22日、検体を動物衛生研究所に送付 | 2頭 |
| 186 | 児湯郡 川南町 | — | 2頭 (山羊2頭) | 44例目の 農場から 北約500m | ・5月21日、町役場職員から宮崎県に対し、愛玩用に飼養していた山羊2頭の鼻に水疱等を確認したと届出 ・22日、立ち入り、2頭の鼻にびらん等を確認 ・22日、検体を動物衛生研究所に送付 | 1頭 |
| 187 | 児湯郡 川南町 | 肉用牛繁殖 | 6頭 (繁殖牛4頭 子牛2頭) | 93例目の 農場から 南約150m | ・5月21日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛3頭に流涎等を確認したと届出 ・22日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・22日、検体を動物衛生研究所に送付 | 2頭 |
| 188 | 西都市 | 肉用牛肥育 | 165頭 (肥育牛157頭 羊8頭) | 166例目の 農場から 北東約550m | ・5月22日、市役所職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 | 3頭 |
| 189 | 児湯郡 川南町 | 養豚 | 321頭 (肥育豚321頭) | 160例目の 農場から 北西約300m | ・5月22日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の足に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭の蹄にびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 | 3頭 |
| 190 | 児湯郡 川南町 | 養豚 | 355頭 (繁殖豚39頭 育成68頭 子豚179頭 肥育豚67頭 種雄豚2頭) | 102例目の 農場から 西約400m | ・5月22日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚1頭の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の鼻に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 | 3頭 |
| 191 | 児湯郡 川南町 | 養豚 | 5,192頭 (繁殖豚410頭 育成22頭 子豚497頭 肥育豚4,252頭 種雄豚11頭) | 126例目の 農場から 南西約250m | ・5月22日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の鼻に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 | 1頭 |

| 番号 | 確認場所 | 経営状態 | 飼育頭数 | 位置 | 経過等 | 検査結果 陽性 (23日判明) |
|-----|------------|-------|---|--------------------------|---|-----------------------|
| 192 | 児湯郡 川南町 | 養豚 | 1,065頭 (繁殖豚102頭 育成26頭 子豚106頭 肥育豚831頭) | 42例目の 農場から 西約450m | <ul style="list-style-type: none"> ・5月22日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の乳房に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、鼻の水疱、蹄の脱落等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 | 3頭 |
| 193 | 児湯郡 川南町 | 肉用牛繁殖 | 24頭 (繁殖牛12頭 子牛11頭 育成牛1頭) | 145例目の 農場から 東約150m | <ul style="list-style-type: none"> ・5月22日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭の鼻・舌に潰瘍等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 | 1頭 |